

平成30年度 金閣小学校教育の基本方針

学校教育目標

自分の夢に向かって、人や環境に働きかける子の育成

目指す子ども像

～自ら学び，自ら考え，自ら行う子～

- 自分でよく考える子
- しっかり聞きしっかり話せる子
- 笑顔であいさつのできる子
- 約束やきまりを守る子
- 健康や安全に気をつける子

目指す教職員像

- プロ意識と責任をもって，信頼できる大人としてのモデルを示すことのできる教職員
- 専門職としての力量を高めるため研鑽し続ける教職員
- 「チーム金閣」の一員として，協働する教職員

目指す学校像

- 子どもが認め合い，高め合い，夢に向かって自分の力を発揮できる学校
- 「チーム金閣」で，一人一人の子どもを徹底的に大切に作る学校
- 「あいさつ」と「ありがとう」が響き渡る学校

指導の重点

- ①学年経営を基盤とする学級経営の安定化
 - 全ての子どもが安心して，過ごせる学級・学年
 - 自分の居場所がある学級・学年
 - 目標をもって行動する学年
 - 児童理解
 - ・児童，保護者との信頼関係の構築
 - ・学習（生活）態度の観察と学習成果物の分析
 - ・より多くの視点での児童理解
 - ・児童一人一人の背景を捉える（生活実態の把握）児童のせいにしない
 - ・罰とおどしによる指導の徹底した排除
 - 心情的共感
 - ・心情的に共感し合える関係の構築 心の交流
 - 受容
 - ・まず受け入れる しっかり話を聞く
 - ・思いを受け入れ，相手の立場になって考えてみる

- ・まず聞き入れて付き合ってみる
- ・最後まであきらめない

②カリキュラムマネジメントの視点による教育実践

○カリキュラムデザイン

- ・すべての教育内容を教科横断的な視点で組織的に配列し、効果を高める。

○PDCAサイクル

- ・教育内容の質的向上を図るために、評価・改善・充実の好循環を目指す。

○内外リソースの活用

- ・教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせる。

③授業（学習指導）の質的改善

○基礎基本の徹底指導・定着

- ・「読む力」「書く力」と「計算力」を向上させる
- ・楽しい授業，分かる授業，できる授業の構築
- ・ノート指導，発問・板書の工夫・個別指導の工夫
- ・導入は短く，中心（山）のある授業展開
- ・一時間ごとの「ねらい」の明確化
- ・「めあて」「見通し」と「まとめ」「ふりかえり」

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・つけるべき資質や能力の明確化
- ・問題意識をもって追究する問題解決的な学習の展開
- ・図画工作専科及びＴＴ指導による質の高い授業
- ・「授業が楽しい」から「学校が楽しい」への変容

○個に応じた指導

- ・一人一人に応じた補充的・発展的な学習
- ・ＬＤ等支援を要する児童への学力保障（総合育成支援の取組）
- ・通級指導教室との連携

○学習評価の充実（指導と評価の一体化）

- ・自己評価と他者評価
- ・評価補助簿の活用

④道徳教育の充実

○道徳実践力を培う

○あらゆる教育活動を通して，子どもの内面に根ざした道徳性を養う。

○「読み物資料」「視聴覚資料」の活用

- ・特別活動との関連
- ・道徳的価値を自分の生活と関連付けて理解させる
- ・多面的・多角的に考えたり議論したりする授業の創造

⑤総合的な学習の時間の充実

○探究的な見方や考え方を働かせ、横断的・総合的な学習展開を通して、
自己の生き方に働きかける資質や能力を育てる。

- ・各教科の学びとの関連を強化し、問いが連続する単元構成を図る。
- ・学校行事や特別活動と学習内容を関連付けることで、教科横断的な学習の充実を図る。

⑥外国語活動の充実

○小中連携を意識し、コミュニケーション能力を図るための基礎となる資質や能力を育てる。

- ・ALTとの連携による指導の充実
- ・小中連携の強化による指導の接続
- ・新教材を使用した指導の工夫

⑦特別活動の充実

○自ら進んで活動する「集団づくり」の推進

- ・6年生を中心とした児童会活動
- ・「委員会活動」「クラブ活動」等での人間関係力の育成
- ・学校行事のねらいと計画的な取組

◎社会見学・宿泊学習

- ・目的意識をはっきりさせた活動の創造
- ・みさきの家 2泊3日 (4年生)
- ・花背山の家 4泊5日 (5年生)
- ・修学旅行 1泊2日 (6年生)
- ・遠足 春のみ (1・2年生)
- ・生活、社会科の学習内容による社会見学校外指導
- ・環境に関する校外学習

⑧読書活動の充実

○児童の読書への興味・関心を高めるための取組の推進

- ・効果的な朝読書の工夫
- ・読書環境の充実と「100冊読書」への挑戦
- ・学校図書館の普通授業での活用

⑨家庭学習の充実

○基本的な学習習慣の定着(15分×学年)

- ・家庭学習の手引きの活用
- ・自学自習の習慣化のための啓発

○明確な家庭学習課題の設定(宿題・家庭学習習慣・自学自習)と確実な点検

- ・家庭の果たすべき役割の啓発と協働の取組
- ・学習予定表の工夫
(家庭学習時間帯の設定・起床・就寝時刻など)
(読書の習慣化)(家庭学習課題の明確化)

(保護者との交流)

⑩ 学校生活の基本的な生活習慣の向上

○ 登下校の把握と指導

○ 挨拶と当番活動の指導の徹底

・ 日直指導，清掃活動，給食指導

・ 自分から，遠くから，大きな声で，名前も呼んで

○ 学校のきまりを徹底して守らせる

・ 「自分を守るため」「人を大切にするため」の学校の決まりの確認

○ 整理整頓

・ 使ったものは元通りに

・ 教材教具の整備と整理